

2011年1月7日

記者各位

JX日鉱日石エネルギー株式会社
三菱商事株式会社

ロシアにおける JI プロジェクトの排出権発行について

～油田随伴ガス回収・有効利用による 29 万トンの排出権発行をロシア政府が認定～

JX日鉱日石エネルギー株式会社(以下、JXエネルギーという。社長:木村 康)と三菱商事株式会社(以下、三菱商事という。社長:小林 健)がロシア連邦石油企業大手のガスプロムネフチ社と共同で推進しているイエティパーロフスコエ油田随伴ガス回収・有効利用 JI プロジェクト^{※1}について、この度、ロシア政府初となる排出権が発行されましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、ガスプロムネフチ社がロシア連邦ヤマルネnetz自治区に保有するイエティパーロフスコエ油田において、従来は利用されずに燃焼処理していた随伴ガス^{※2}を回収し、ロシア国内でガス燃料等として有効活用するもので、今回、パイプラインの運転を開始した 2009 年 8 月から同年 12 月末までの期間における CO₂ 排出削減量 29 万トンに対し、排出権が発行されました。

JXエネルギーおよび三菱商事は、ガスプロムネフチ社と共に、事業化調査段階からディベロッパーとして本プロジェクトに取り組んできましたが、今後とも、こうした温室効果ガス排出量削減事業^{※3}の推進により、地球温暖化防止に貢献してまいります。

※1 JIプロジェクトとは、京都議定書に定められている温室効果ガス削減の手法のひとつで、先進国同士が協力していずれかの国内で温暖化ガス削減事業を実施し、そこで生じた排出削減量に基づき、事業を実施している国より排出権が発行されるものです。JIとは“Joint Implementation”(共同実施)の意。

※2 原油生産の際に副生するガスで、メタン、エタン、プロパン等の成分からなる。安全上の理由から、燃焼処理されることが多い。

※3 JXエネルギーは、グループの石油開発会社である日本ベトナム石油(株)が原油生産を行っているベトナム・ランドン油田において、2006 年に随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとしては、世界で初めて CDM(クリーン開発メカニズム)の認定を受けました。三菱商事は幅広い分野・地域で CDM および JI プロジェクトの実績を多数保有しており、国連登録済み 58 案件(2010 年 12 月 31 日現在)を含め 100 を超える排出権事業を自社開発し排出権の創出を実施中です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

JX日鉱日石エネルギー株式会社	広報部	TEL:03-6275-5046
三菱商事株式会社	広報部	TEL:03-3210-2511

添付資料:「ガスプロムネフチ社の概要」および「プロジェクトの概要」

「ガスプロムネフチ社の概要」および「プロジェクトの概要」について

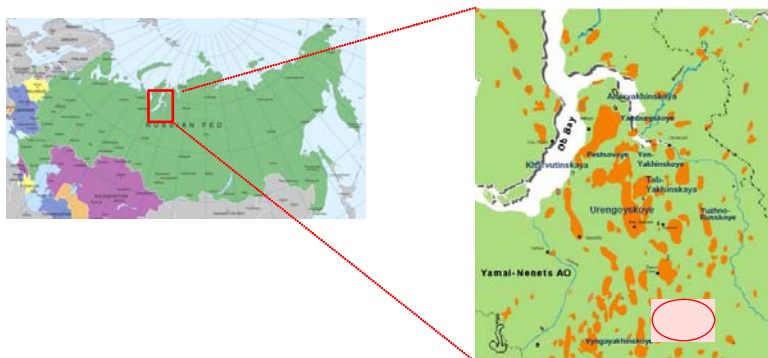
1. ガスプロムネフチ(GAZPROM NEFT)社の概要

- | | | |
|-----------|--------------------|-------|
| (1) 事業内容: | 原油の採掘・精製・販売 | |
| (2) 株主構成: | ガスプロム(Gazprom) | 90.0% |
| | Gazprom Finance BV | 5.7% |
| | その他 | 4.3% |

2. イエティプーロフスコエ(Yety-Purovskoe)油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトの概要

(1) プロジェクト所在地

ロシア連邦 ヤマルネネツ自治区イエティプーロフスコエ油田



地図の出所: the Company's
operating highlights 2006,
OAO Gazprom Shareholders
Meeting, June 29, 2007,
Gazprom



(2) 実施開始日

2009年8月10日

(3) 予想 CO₂ 削減量

合計 約 310 万トン (2009 年～2012 年の期間)

(4) 事業参加者の役割:

① ガスプロムネフチ

パイプライン新設等の関連設備投資、操業及び回収ガス販売、ロシア政府承認申請手続、
排出権発給・移転手続

② JXエネルギー

排出権事業化の技術的支援、プロジェクト設計書作成、削減ガスの測定等のモニタリング

③ 三菱商事

日本政府承認申請手続、排出権事業化に関わる関連法規の調査、
本プロジェクトから創出される排出権全量の販売